

# 方言調査 in 高知 ～高知方言のイメージ～



愛媛大学法文学部

村田蒼空  
大成花音

安藤里帆  
谷口春菜

馬木花笑  
仲野千尋

江口陽菜  
松村楓

## 【1. 調査の目的】

- ① 高知出身の方が、普段高知方言をどのように使用しているのか、使用の実態を明らかにする。
- ② 自ら使用する高知方言に対して、どのような印象を抱いているのか、イメージを明らかにする。

## 【2. 調査の概要】

調査対象者：高知市出身の20～60代 9人

※全員から同意を取得した上で実施

調査方法：高知方言に対するイメージ・印象について、インタビュー調査を実施

## 【3. 結果分析】

### (1) 方言の使い分け

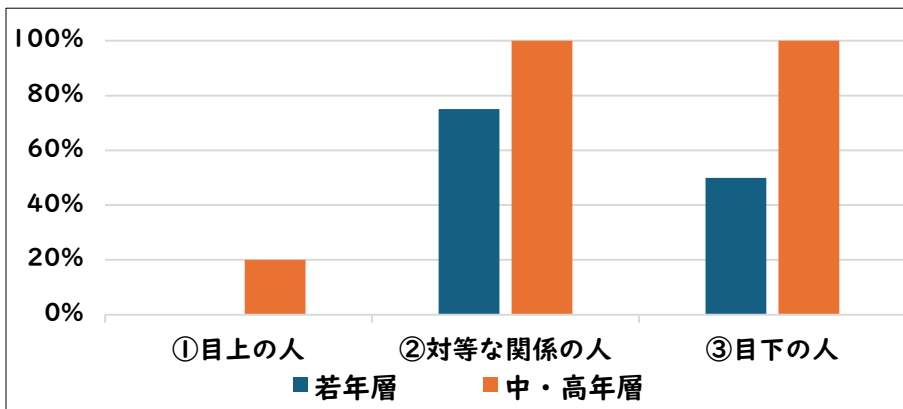


図1 相手との関係性からみた方言使用①

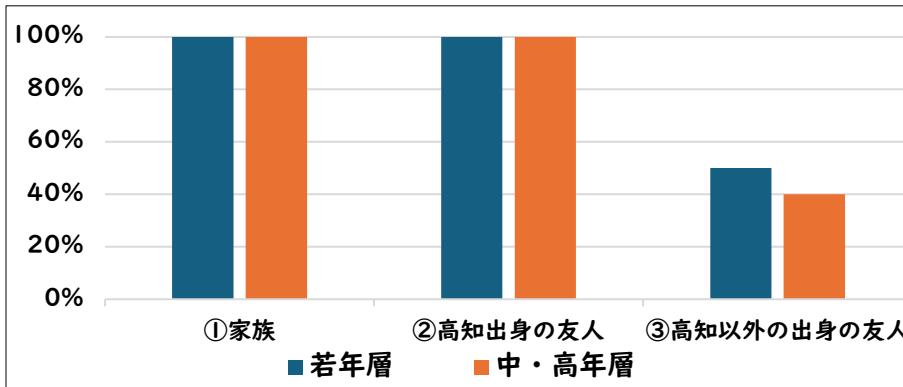
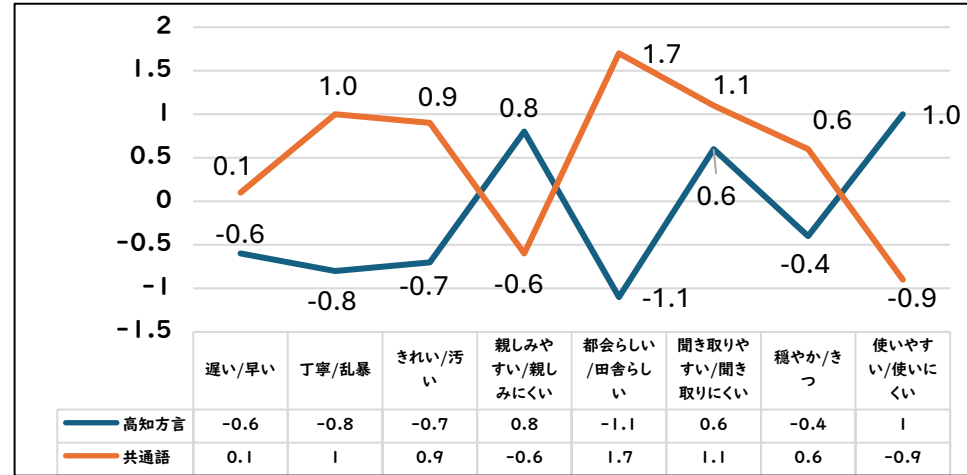


図2 相手との関係性からみた方言使用②

### 【分析】

- ・目上の人に対しては方言を使用せず、対等な関係や目下の人に対して方言を使用する傾向がある。  
⇒ **上下関係また心理的距離**により方言使用の有無がわかる。
- ・家族や高知県出身の友人に対しては方言を使用するが、高知県以外の出身の友人に対しては方言の使用が控えられる。  
⇒ **相手の出身地への配慮**がなされている。  
**誤解の回避やコミュニケーションの効率性**を意識している。

### (2) 高知方言のイメージ



### 【分析】

高知方言のイメージ

**乱暴・親しみやすい・田舎らしい・使いやすい**

共通語のイメージ

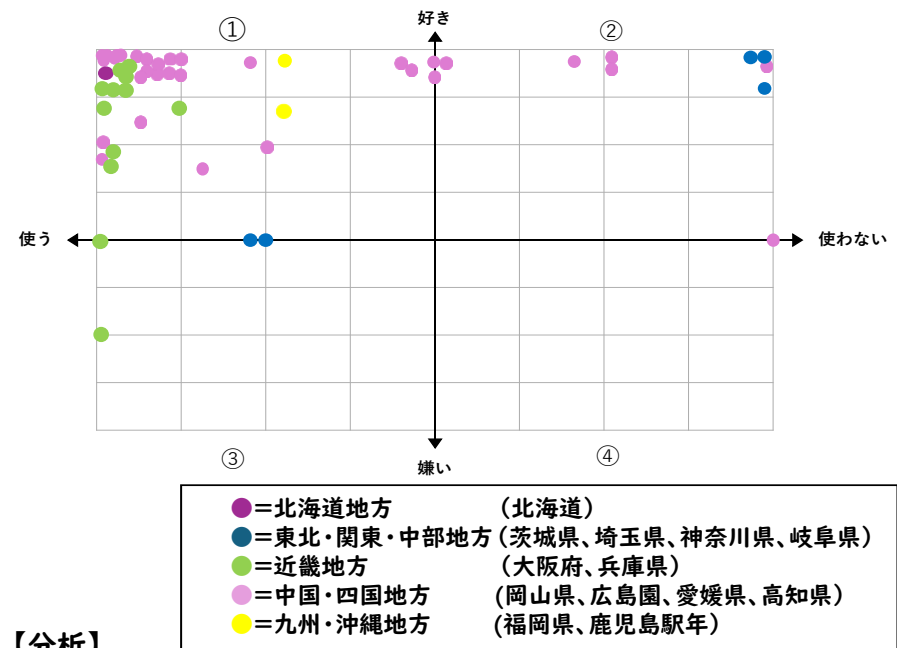
**丁寧・きれい・都会らしい・聞き取りやすい・使いにくい**

高知方言と共通語で対照的な結果

高知方言「乱暴」 ↔ 「田舎らしい」 ↔ 「使いやすい」  
共通語「丁寧」 ↔ 「都会らしい」 ↔ 「使いにくい」

### 【番外編 街頭インタビュー調査】

ひろめ市場にて、出身地を問わず、「出身地の好悪」「出身地の方言使用」について街頭インタビュー調査を実施 ※回答者数：53人



### 【分析】

- 出身地の好悪：出身地を問わず、好感度が高い。
- 出身地の方言使用：近畿、中国・四国での使用頻度が高い。一方、東北・関東・中部では使用頻度が低い。

## 【まとめ】

- ・高知方言話者は、対等・目下の人に対して方言を使用している。高知出身以外の友人には、方言の使用が控えられ、相手の出身地に配慮したコミュニケーションが行われている。
- ・高知方言のイメージは、「乱暴」「親しみやすい」「田舎らしい」「使いやすい」で、共通語と対照的なイメージを抱いている。

### 参考文献

- 上野智子 (2011) 『四国方言—とりたて・言いよどみ・言いはなち・言いすてて・言いおさめる—』リーブル出版
- 熊谷滋子 (2020) 「方言敬語の語られ方と近代主義—方言研究にみる近畿中心主義—」『静岡大学人文社会科学部社会科学・言語文化学科研究報告』70(2)
- 佐藤和之・米田正人 (1999) 『どうなる日本のことば—方言と共通語のゆくえ—』大修館書店
- 田中ゆかり (2011) 『「方言コスプレ」の時代—ニセ関西弁から龍馬語まで—』岩波書店
- 平山輝男編・上野智子編 (2020) 『高知県のことば』明治書院 (日本のことばシリーズ39)

高知方言は  
使いやすい  
ぜよ！

